



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社 ベルーナ

上場取引所 東

コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 松田 智博

TEL 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,749	16.8	2,120	10.3	2,398	44.8	1,792	89.4
24年3月期第1四半期	27,184	0.2	1,922	△19.9	1,656	△31.1	946	△17.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,811百万円 (34.0%) 24年3月期第1四半期 1,351百万円 (32.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	36.62	—
24年3月期第1四半期	18.89	17.83

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	104,350	62,230	59.6	1,271.70
24年3月期	99,174	60,805	61.3	1,241.73

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 62,230百万円 24年3月期 60,805百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,000	8.5	2,600	19.5	2,600	34.4	1,650	61.7	33.70
通期	119,000	7.9	7,500	1.3	7,500	4.9	4,600	7.1	93.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	56,592,274 株	24年3月期	56,592,274 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,657,719 株	24年3月期	7,624,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	48,958,976 株	24年3月期1Q	50,124,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要に加え、個人消費が堅調に推移したこともあって景気は緩やかな回復傾向にあります。欧州債務問題や円高基調など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き顧客ニーズに合った商品展開、サービスレベルの向上、Eコマースの拡大に努め、新規顧客及びリピート顧客の拡大を図って参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31,749百万円（前年同期比16.8%増）となりました。営業利益は増収効果により2,120百万円（同10.3%増）となりました。また、経常利益は、前年同期とは異なり為替差益を計上したことなどで2,398百万円（同44.8%増）となり、四半期純利益も1,792百万円（同89.4%増）となりました。

#### [総合通販事業]

「家庭用品」や「衣料品」が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は21,777百万円（同15.7%増）となりました。セグメント利益は原価率の改善などにより1,121百万円（同20.7%増）となりました。

#### [専門通販事業]

化粧品、看護師向け事業に加えて、グルメ事業でも堅調に売上を伸ばしたことにより、売上高は5,478百万円（同8.9%増）、セグメント利益は90百万円（前年同期はセグメント損失67百万円）となりました。

#### [ソリューション事業]

大口クライアントの取引縮小で通販代行サービスが苦戦しましたが、封入・同梱サービスが順調に拡大したことにより、売上高は1,176百万円（同9.9%増）、セグメント利益は514百万円（同8.4%増）となりました。

#### [ファイナンス事業]

不動産担保金融事業と国内消費者金融事業で営業貸付金残高は減少しましたが、貸付金利が比較的高い韓国消費者金融事業で営業貸付金残高が伸びたことにより、売上高は707百万円（同4.1%増）となりました。一方でセグメント利益は、貸倒引当金の戻り益が前年同期と比較して大幅に減少したことなどにより67百万円の損失（前年同期はセグメント利益420百万円）となりました。

#### [プロパティ事業]

販売用不動産の売却により、大幅な増収・増益となり、売上高は1,039百万円（同263.0%増）、セグメント利益は308百万円（同283.7%増）となりました。

#### [その他の事業]

アパレル卸事業を展開しているフレンドリー(株)並びに和装の店舗展開を行っている㈱BANKANが順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は1,672百万円（同19.7%増）となり、セグメント利益は121百万円（同155.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は61,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,344百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2,553百万円、商品及び製品が2,260百万円増加したことによるものであります。固定資産は42,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,831百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1,645百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は104,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,175百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は31,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,967百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3,639百万円増加したことによるものであります。固定負債は10,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が500百万円減少した一方でリース債務が293百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、42,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,750百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は62,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,424百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は59.6%（前連結会計年度末は61.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,959	15,513
受取手形及び売掛金	11,493	12,471
営業貸付金	14,273	14,686
有価証券	401	399
商品及び製品	9,848	12,108
原材料及び貯蔵品	997	221
販売用不動産	2,450	2,046
仕掛販売用不動産	858	742
繰延税金資産	586	542
その他	5,670	4,222
貸倒引当金	△1,246	△1,318
流動資産合計	58,292	61,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,258	11,172
機械装置及び運搬具(純額)	109	104
工具、器具及び備品(純額)	350	326
土地	16,429	16,711
リース資産(純額)	249	222
建設仮勘定	190	229
有形固定資産合計	28,587	28,766
無形固定資産		
のれん	230	197
リース資産	875	1,220
その他	2,893	2,760
無形固定資産合計	3,998	4,179
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379	4,024
長期貸付金	1,880	1,673
破産更生債権等	3,692	3,605
繰延税金資産	868	915
その他	1,786	1,773
貸倒引当金	△2,312	△2,224
投資その他の資産合計	8,295	9,767
固定資産合計	40,881	42,713
資産合計	99,174	104,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,852	18,491
短期借入金	2,560	2,435
未払費用	6,319	7,024
リース債務	490	483
未払法人税等	1,056	656
賞与引当金	441	257
返品調整引当金	73	101
ポイント引当金	517	507
その他	1,408	1,728
流動負債合計	27,718	31,686
固定負債		
長期借入金	6,983	6,483
利息返還損失引当金	1,610	1,606
リース債務	371	665
退職給付引当金	276	267
役員退職慰労引当金	219	219
資産除去債務	449	452
その他	739	738
固定負債合計	10,650	10,433
負債合計	38,369	42,119
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	49,761	51,187
自己株式	△9,456	△9,476
株主資本合計	61,915	63,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	62
為替換算調整勘定	△1,190	△1,153
その他の包括利益累計額合計	△1,110	△1,091
少数株主持分	0	0
純資産合計	60,805	62,230
負債純資産合計	99,174	104,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	27,184	31,749
売上原価	11,671	13,778
売上総利益	15,512	17,970
返品調整引当金繰延差額	36	28
差引売上総利益	15,475	17,942
販売費及び一般管理費	13,552	15,822
営業利益	1,922	2,120
営業外収益		
受取配当金	19	17
固定資産税還付金	—	150
その他	131	253
営業外収益合計	150	420
営業外費用		
支払利息	97	34
為替差損	275	—
デリバティブ評価損	17	73
その他	27	34
営業外費用合計	417	142
経常利益	1,656	2,398
税金等調整前四半期純利益	1,656	2,398
法人税、住民税及び事業税	16	595
法人税等調整額	692	9
法人税等合計	709	605
少数株主損益調整前四半期純利益	946	1,792
少数株主利益	0	0
四半期純利益	946	1,792



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	946	1,792
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	40	△17
為替換算調整勘定	364	36
その他の包括利益合計	404	18
四半期包括利益	1,351	1,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,351	1,811
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	18,804	5,015	1,001	679	286	1,396	—	27,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	16	69	—	—	—	△104	—
計	18,822	5,031	1,070	679	286	1,396	△104	27,184
セグメント利益(又は セグメント損失△)	929	△67	474	420	80	47	37	1,922

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳70百万円とのれん償却費△32百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	ソリューション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	21,759	5,470	1,100	707	1,039	1,672	—	31,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	7	76	—	—	—	△103	—
計	21,777	5,478	1,176	707	1,039	1,672	△103	31,749
セグメント利益(又は セグメント損失△)	1,121	90	514	△67	308	121	31	2,120

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳63百万円とのれん償却費△32百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。